アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援　理　数　系　人　材　育　成　支　援

地域のDXを動かす次世代ITリーダーと理数系人材の育成

大分県立情報科学高等学校（じょうほうかがく）

全日制／情報科・工業科・商業科

この改革が必要な背景

- 大分県では、デジタル化の進展に伴ってIT人材の需要が高まっている一方、IT人材は都市圏に偏在し、**地域産業のDXを担う人材が不足。先端科学技術や大学・企業と連携した学びを求める声**がある
- 授業や探究におけるデータ活用は十分に進んでおらず、理数探究基礎・理数探究の履修校も限られているため、**「情報」を軸に教科横断で学び、数理・データサイエンス・AIの素養を育てる改革**が急務

事業概要（学びの変化）

情報をハブとした３年間縦断のカリキュラム

- ✓ **学校設定科目「Nexus（3単位）」を新設**し、AI開発企業の専門家（**AIエキスパート**）**からの継続的な指導**を受けながら、AIを活用するだけでなく、設計・開発・実装まで学ぶ実践的な教育を**３年間**で体系的に学習
- ✓ **情報科・工業科・商業科の生徒による学科横断**チームで、地域や企業の課題解決に挑戦

情報×理数で未来を創る理数系人材育成

- ✓ 理工系大学への進学や研究分野での活躍を目指す**「情報サイエンスコース（仮称）」**では、**情報と理数の学びを接続**した教育課程を編成
- ✓ データ分析力や課題解決力の育成に向け、**全学科で**「情報×数学」「情報×理科」「情報×地理公民」など**情報を軸にした教科横断型授業**を展開
- ✓ **大分大学等と連携**し、**先取り履修**も含めた**高大接続プログラムを構築**し、**理工系大学や研究につながる学び**を展開。理工系分野で活躍する**女性人材**との交流機会も継続的に創出

サイバーセキュリティや地域産業DXを支える高度IT人材育成

- ✓ 地域産業ＤＸを支える高度IT人材を育成する**「ITリーダー育成コース(仮称)」**を新設し、**学校設定科目「サイバーセキュリティ」**、**「データマネジメント」(各2単位)**等を開設。**県内IT企業と連携**し、AI・データ・情報セキュリティを活用する高度な専門性を育成
- ✓ **専門学校と連携**する**５年一貫IT人材育成ロードマップを構築**し、高校段階から情報処理安全確保支援士等の**高度資格取得につなげる教育を展開**



AI・データサイエンス教育を県全体へ

- ✓ 本校にAI・データサイエンス教育の中核を担う**「データサイエンスチーム（仮称）」を設置**し、教材や授業モデル開発・教員研修・成果発信を一体的に実施
- ✓ 情報科で扱うデータサイエンス、情報システム等の**発展的な学習内容**を、**県内他校の「情報Ⅱ」で活用**できる形に再構成

＜生徒の１日の流れ（例）※デジタル創造科（ITリーダー育成コース）２年Aさん＞



【9:00】
「Nexus」において、ＡＩ画像認識や音声認識の演習に取り組む



【10:00】
「課題研究」において、情報・工業・商業の生徒が協働し、企業から提供されたデータを基に、DXによる業務改善策を検討

【13:30】
「データマネジメント」において、データを整理・分析し、業務改善や意思決定に活用する方法を学ぶ

【14:30】
「サーバーセキュリティ」において、情報資産を守る技術者について学ぶ

高校生の未来の姿（指標の例）

- 県内IT企業、製造業の情報・システム管理部門等へ就職した生徒の割合
- 情報科の生徒のうち県内の情報・理工系分野の４年生大学に進んだ生徒の人数

	(現状)	(R10)	(R13)
20% ⇒ 25% ⇒			30%
7名 ⇒ 10名 ⇒			15名



他校への普及方策

- 専門教科「情報」を活用した発展的な情報学習パッケージの開発・普及
- 小・中・高の教員を対象にデータサイエンスや生成AI等の研修　　等

主な連携機関

大分大学、立命館アジア太平洋大学、日本文理大学、別府大学、大分キヤノン㈱、㈱APC　等

（出典）都道府県の提出書類及び生成AIにより作成した画像をもとに文部科学省において作成